

# Vol.125 PUSH!

図書館司書が選んだ  
中高生向けのおすすめ本  
テーマ

怖がりしたい



## 小泉八雲の妖怪図鑑

小泉 凡 // 監修  
三才ブックス  
(930ハンラ)

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、日本に古くから伝わる昔話や伝説に魅了され日本に帰化した人物です。彼の代表作「怪談」に登場する妖怪や幽霊たちを、八雲自身が描いた絵や江戸時代の絵師によるビジュアルとともに解説。さらに、物語のあらすじもあわせて紹介します。

## 黒沼

香月 日輪 // 著  
新潮社 (PFコウズ)

ランドセルの中  
夕暮れの旧校舎

ハイキングで訪れた、森の奥…  
身近な場所に潜む闇の世界。  
そこで子どもたちが体験する恐怖の物語。

## ふくもっちゃんのつぶやき ~夏★ビブリアバトル!編~

こんにちは、ふくもっちゃんでございます。  
「推し本」を熱く語る夏のイベント、ビブリアバトルが今年も開催されます! 去年のチャンプ本は、『あやうく一生懸命生きるところだった』(中学生の部) 『穴』(高校生の部)  
夏休みは、刺激的な読書体験をしてみませんか?  
8月9日(日) 午後1時~  
こむこむ館1F わいわいホール  
バトル(発表者)希望のかた  
7月2日(木)まで募集中!

令和8年5月  
編集発行 福島市立図書館 YA部会  
TEL 024-531-6551

## いるの いないの

京極 夏彦 // 作  
町田 尚子 // 絵  
東 雅夫 // 編  
岩崎書店 (Eマチダ)

僕はおばあさんと暮らすことになった。  
家は古く、天井がとても高く、うす暗い。  
僕は気になってつい、上を見てしまう。  
だれかがいる…きがする。

“怪談えほん”シリーズの3作目  
ページをめくるごとに、不気味な怖さが  
増してくる絵本です。

## 世界ぐるぐる 怪異紀行

奥野 克巳 // 監修  
奥野 克巳 ほか // 著  
河出書房新社 (B38セカイ)

雪男イエティや魔女など、世界各地に伝わる怪異。文化人類学者が実際に訪れ、見聞きし体験した出来事を語る一冊です。その呪術や怪物はなぜ伝承されてきたのか? 学問から怪異をひもときます。

## 私は幽霊を見ない

藤野 可織 // 著 KADOKAWA  
(914.6/フジノ)

「幽霊が見たいのに見えない」のが悩みの藤野さん。憧れの心霊体験を求め怪談話を収集し、心霊スポットを巡り、怖がりなのにホラー映画を見て涙する日々。果たして、幽霊と出会える日は来るのか? 芥川賞作家の奇々怪々な日常を描いたエッセイ。

## 湖中の レイチェル

K・R・アレグザンダー // 作  
金原 瑞人・小松 かほ // 訳  
小学館 (Y93アレグ)

おぼれ死んだはずのレイチェルが学校に来ている。私が湖に突き落としたことは、誰にもバレている様子はない。まるで何事もなかったようにふるまっているけど、私は気づいた。レイチェルは人ではない“何か”に変わっている……